

高校野球岡山大会 対戦カード決定

57チーム狙え甲子園切符

組み合わせ



【注】太字はシート校。マはマスカット、倉は倉敷市営、工は美咲エイコンの各球場

来月8日開幕

第105回全国高校野球選手権記念岡山大会（7月8日開幕）の組み合わせ抽選会が24日、岡山市の環太平洋大であり、出場57チーム（58校）の対戦カードが別表の通り決まった。25日までの18日間、倉敷マスカットスタジアムなど3球場を舞台に甲子園出場を懸けた熱戦が繰り広げられる。

各チームから主将と部長、監督が出席。県高野連の藤原修会長が「正々堂々とした戦いを望みます。リスペクトし合う素晴らしい大会にしましょう」とあいさつした。

春の県大会4強のAシード（学芸館、光南、山陽、倉敷工）、8強のBシード（作陽学園、倉敷商、理大付、創志学園）、残り49チームの順に主将がくじを引き、番号とチーム名を読み上げた。

春優勝の学芸館は、開幕試

合（8日）の和気閑谷 興譲館、連覇を目指す創志学園は 大安寺 岡山南の勝者とそれぞれ初戦の2回戦で当たる。

開会式は8日午前10時から同スタジアムで全チームが参加して行われ、選手宣誓は林野の大寺陽羽主将（3年）に決まった。

休養日は準決勝、決勝の前日を含む4日間。今大会からタイブレークの開始イニングは従来の延長十三回から十回になるほか、新型コロナウイルス禍で自粛してきたスタンドの声出し応援が4年ぶりに解禁される。



くじを引く学芸館の森下叶太郎主将（環太平洋大）

林野・大寺主将「感謝伝える宣誓に」



スタンドの声出し応援が4年ぶりに解禁される大会で選手宣誓を務める林野の大寺主将「写真」は「（コロナ禍前の）大応援が戻ってくる。応援してくれる人に感謝を伝えるような宣誓にしたい」と話した。

県高野連がくじを引き、選ばれた瞬間は「びっくりして不安が頂点に達した」。人前で話すのは苦手というが「練習を重ねて堂々とはきはきはしゃべれるようにする」と本番を見据えた。

チームでは「1番遊撃」の攻守の要。9日の1回戦は方谷学舎と当たる。「まずは宣誓でチームに流れを持っていく」。大役を全うし、5年ぶりの初戦突破へ弾みをつける。（山根上貴）

今春、昨秋の県大会でそれぞれ頂点に立った学芸館、山陽がリード。対抗馬は昨夏の決勝を戦った創志学園と倉敷商か。組み合わせは、4強が分散した。直接対決までに状態を上げられるかもポイントになりそうだ。

学芸館は投手陣の厚さで優位に立つ。エース伊藤は春の公式戦防御率が1・11（投球回24回）。左腕金田、2年生右腕沖田も安定している。俊足の森下、藤原の1、2番がけん引する攻撃も得点能力が高い。過去2度の優勝はいずれもノーシードからだった。春の王者として初めて臨む重任をはね返せるか。

山陽も井川、西野、三浦ら本格派右腕をそろえる投手陣に力があり、準決勝敗退だった春の県大会も1試合平均2・3失点。倉敷の坂本ら序盤から好投手との対戦が見込まれ、土井、渡辺ら右の好打者が並ぶ打線の出来が焦点だ。東海大相模（神奈川）で甲子園優勝4度の門馬監督を迎え、初めての夏となる創志学園。新体制では「無冠」ながら、甲子園を主力で経験した捕手竹本、遊撃上田らを中心に攻守に磨きかけた。大型右腕の横田を軸とした継投が機能すれば初の連覇も視野に入る。

学芸館、山陽リード 追う創志、倉敷商

代替大会を含め、過去4年連続で決勝進出と夏に強さを発揮するのが倉敷商だ。1年生だった昨夏から主戦格として投げる和田、春以降の実戦で5割超の打率を残す2年生の4番山下ら有望な下級生が成長し、着実に底上げが進んでいる。光南、理大付も頂点を狙える。光南は長身右腕の小玉、1年生左腕石井ら投手の陣容が整い、春は準優勝と結果を残した。理大付は左腕高橋、左の強打者生田と投打に粒ぞろいだ。

旧チームでセンバツに出場した倉敷工は石原、坂爪らの打撃が武器。9年ぶりにシードとして臨む作陽学園は強打の捕手富村が攻守の要で引っ張る。それぞれ初戦は、浦田ら投手陣が充実する関西、投打にまとまる就実と難敵が予想される。戦績こそ秋春とも伴わなかったが、地力を秘めるチームは多い。岡山東商は柴田、金光学園は増田と長距離砲が軸を担う打線に破壊力がある。明誠学院や商大付、西大寺も攻撃力が自慢。注目右腕の森を擁す笠岡工をはじめ、城東、美作などは強豪ともディフェンスで渡り合える。岡山勢は今春のセンバツ出場を逃した。現世代にとって甲子園へのラストチャンスとなる夏は、蓄えた力をぶつけ合う好ゲームを期待したい。（稲垣心也）

どんどん攻めていく

光南・田野昌平監督
（組み合わせ表の）
右下のくじは前回甲子園に出た10年前と同じ。Aシードだがチャレンジャーという気持ちをお忘れず、どんどん攻めていく。

積み重ね信じて臨む

倉敷工・高田康隆監督
日々進化してきたチーム。初戦から手ごわい相手になりそうだが、自分たちの積み重ねを信じて臨みたい。大会中も選手の成長を期待している。

イメージが固まった

学芸館・佐藤貴博監督
組み合わせが決まり、投手のローテーションのイメージが固まった。全て第1試合なので準備はしやすい。選手の精神的な状態も上げていく。

好投手対策をしたい

山陽・堤尚彦監督
好投手との対戦が続くそうなので、対策をしたい。強化合宿を明日（25日）打ち上げる。残りの期間でしっかり回復させ、初戦にピークを合わせたい。

Aシード監督のコメント

さんデジで全試合イニング速報

電子版「山陽新聞デジタル」(さんデジ)は、第105回全国高校野球選手権記念岡山大会の全試合をイニング速報します。近く高校野球特集ページを開設します。

